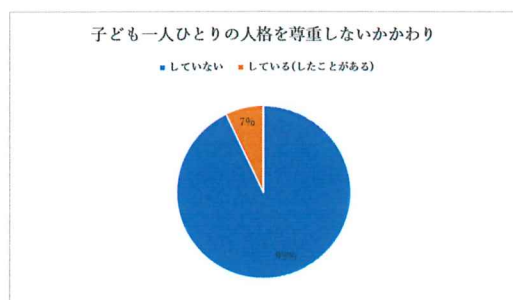


令和5年度 青空保育園 自己評価表

令和5年度 保育士24名に対し全国社会福祉協議会から出ている「人権擁護のためのチェックリスト」を利用しました。「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について保育を振り返り自らの保育の質を高める為、自己評価を行っています。チェックリストに掲載されている、している（していたことがある）は、今年度だけでなく逆のぼつての評価となっています。

1. 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかわり	していない	している
1	登園時	朝、母親に抱かれて、なかなか離れられない子どもに「ずっと抱っこしてもらっていると恥ずかしいよ」と言葉をかける	24	0
2	日中	製作活動で子どもが書いた作品をみて、「そこ違うよ。もう一枚書いてみる？」とだけ言って、書き直すように働きかけた。	24	0
3		排泄失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉かけをする。	24	0
4		子どもが、友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に責めるような言葉かけをする。	24	0
5		子どもが保育者に話しかけた際、「今忙しいから後にして」と言う。	19	5
6		苦手なことを渋っている子に、「早くやっで。できないなら後ろに行っで」と言ったり、他者と比較したりなど否定的な言葉かけをする。	22	2
7	昼食時	食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューをすべて配膳せず、食べたら次のおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。	19	5
8	降園時	お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友達を泣かせてしまいました」と他の保護者にも聞こえるように言う。	24	0
9	その他	子ども同士のトラブルが起きたとき、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。	24	0
10		自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。	19	5



・子どもたち一人ひとりをよく見てその子の性格を把握し関わるようにしています。良い所をたくさん見つけ、その部分をほめるようにし、それをきっかけに新たな面を伸ばしていけるようにしています。

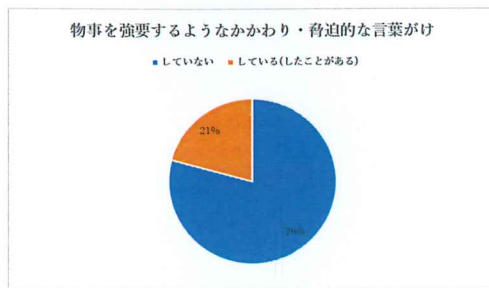
・（排泄）失敗しないようにと必要以上に声を掛け過ぎてしまうことがありました。できるだけ子どもたちの意思を尊重するよう気をつけていこうと思います。

・（食事）4月当初は、クラスや担任も変わったり新入園児も入ることからスープは後にしてしまうこともありましたが、それ以降は食事の際全部テーブルにのせるようにしています。（未満児クラス）

・保護者の方や職員の引継ぎの際など、待たせてしまうこともるので、「待たせてごめんね」「お話終わったら聞くね」など安心できるような言葉かけをするようにしていこうと思います。

2.物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉かけ

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している
1	日中	集団行動をするための言葉かけをした際、言葉かけを聞かない子どもに「〇〇しないなら〇〇できないからね」と言葉をかける。	12	12
2	昼食時	ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、ほかの子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。	24	0
3	午睡時	なかなか寝付けずにいる子に「早く寝てよ。あなたが寝ないと仕事が出来ないんだよね」と言う。	24	0
4		寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする。	15	9
5	その他	どなったり、「〇〇しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの（鬼等）を使ったりして、子どもの保育者の思い通りに動かそうとする。	20	4

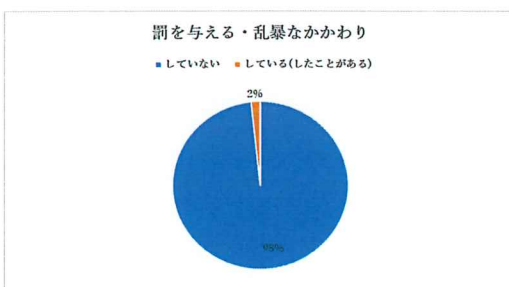


・脅迫するような言葉かけではないが、「〇〇しないと〇〇できないよ」と言ってしまうこともあるので、今それをしないといけない理由をしっかりと伝え（寒いから上着ようね等）子どもたちが納得できる話し方をしていこうと思います。

・子ども自身が考えて行動できるような関わり方を常に考えていきたいと思います。
 ・午睡時、隣同士で寝ずに会話を楽しんでいたりと、隣にいる子にちょっかいを出してしまう子に、体を休める大切さや周りに迷惑がかかってしまうことなど伝えているが、数回伝えても遊び始めてしまう園児に対して、寝やすい境界を整えようとしてベッドを移動させてしまうことがありました。分かりやすく話したり、関わり方を変えて接していこうと思います。

3.罰を与える・乱暴なかかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している
1	日中	子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える。	24	0
2		並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待たず、腕を掴んで引っ張る。	23	1
3		子どもを注意する際に、「だめよ!」と言って子どもの手を叩く。	24	0
4	午睡時	なかなか眠らない子どもに布団を頭からかぶせるなどして強引に押さえつけ、パンパンと強く布団を叩く。	24	0
5	その他	保育者が子どもに注意をしたが、言うことを聞かなかった子どもに対し、廊下に立たせる、散歩に行く際に置いて行こうとするなどの罰を与える。	23	1



・暴力はあっていけない事だと思うので、今後も一人ひとりの人権を尊重しながら丁寧な関わりをしていきたいと思っています。

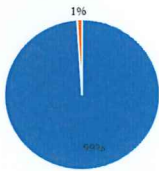
・絵本の読み聞かせなどの際、保育室を走り回っていたりふざけ合う園児に対し声掛けや手遊び、歌などこちらに興味を持てるような関わりはしていたが、周りの子ども達に迷惑がかかってしまう様なときは、別室で他職員に協力してもらうこともありました。罰を与えるつもりはなくても、子どもにとっては不適切な保育に当てはまる為、もっとわかりやすい声掛けや興味がひける物を用意したり工夫したいと思っています。

4. 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかわり	していない	している
1	降園時	いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「〇〇ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。	24	0
2	その他	登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に、子どもに「また〇〇君のお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの。」など否定的な言葉がけをする。	23	1
3		いつもぎりぎりの時間にお迎えにくる保護者に「いつもぎりぎりですね」と言ったり、保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言ったりする。	24	0
4		「お休みの日にどこに行ったかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち『全員』に発表してもらう。	24	0

一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかわり

■ していない ■ している(したことがある)



・育ちや家庭環境は非常に大事ではあるので、それをしっかりとふまえて、丁寧に関わるようにしています。

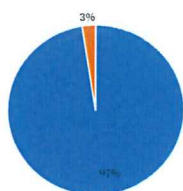
・保護者とも積極的なコミュニケーションをとり、子どもの様子や保護者の事情を理解していけるように努めていきたいと思っています。

5. 差別的なかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかわり	していない	している
1	登園時	挨拶をしてきたか否かにかかわらず、特定の子どもにだけ「おはよう」と言葉がけをする。	24	0
2	日中	いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉使いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。	23	1
3	昼食時	少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、はじめから非常に量を少なくして配膳する。	22	2
4	午睡時	寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。	24	0
5	降園時	クラス全員で帰りの支度をしている時に、なかなかできない子どもに「〇〇ちゃんは早くできないのね、だめな子になっちゃうよ」と言う。	24	0

差別的なかわり

■ していない ■ している(したことがある)



・男の子は～だ、女の子は～だという意識に気をつけていこうと思います。

・小食の子に対して、自分で言うことが難しい年齢の子は、全部食べた満足感、達成感が味わえるよう調整していることがあります。以上児クラスや自分の意思を伝えられる子は、子供の意見を尊重するよう必ず聞くようにしています。

<総評>

・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へとなり、行事等もコロナ前の対応へと少しずつ戻り異年齢交流をすることが出来ました。今回の自己評価は昨年度も行っているので、子ども達への言葉かけや対応を意識しながら保育を心掛けていきました。日々の何気ない言葉かけや仕草、行動が子どもの自尊心を傷つけてしまったり、自主的な行動の妨げになることもあるので、信頼関係を築き子どもの気持ちや状況に配慮したかわりを意識して保育を行いたいと思います。またアンケートで終わらせることがないよう、今後の保育に役立てていけるようにしていきたいと思っています。